

	キン コウラン
氏 名	金 紅蘭
本籍（国籍）	中国
学位の種類	博士（農学）
学位記番号	連研第 617 号
学位授与年月日	平成 26 年 3 月 24 日
学位授与の要件	学位規則第 5 条第 1 項該当課程博士
研究科及び専攻	連合農学研究科 生物環境科学専攻
学位論文題目	中国延辺地域における農地流動化の進展と「専業農場」経営の展開 — 図們市 Y 鎮を事例として — (Progress of the rural land circulation and development of [Specialized Farms] management in Yanbian, China : A comparative case study of Y Town , Tumen City)
学位審査委員	主査 教授 小沢 亘 副査 准教授 藤科 智海 副査 教授 神田 健策 副査 教授 佐藤 和憲

論文の内容の要旨

中国において農地流動化は 1984 年から一貫して政府によって容認され、適度な大規模経営政策にも力が注がれているが、その効果はあまり顕著でない。近年、合作社、農場等の組織による農地流動化が進み、適度な大規模経営が行われるようになった。本研究では、図們市 Y 鎮を事例とし、延辺地域における農地流動化の実態を解明し、延辺地域の農地流動化を促進している手段である「専業農場」の現状を把握しつつ、設立経緯と発展過程及び展開方向を明らかにした。

具体的な論文の構成は、次のまとめのとおりである。

序章では、中国における農地流動化の重要性と、延辺地域において農地流動化を促進する重要な手段で、農業経営規模拡大を実現している「専業農場」の必要性を指摘し、関連する先行研究を整理し、本研究の課題を提起し、研究全体に関わる課題と方法について述べた。

第 1 章では、中国の各段階における農地流動化の変遷を整理した上で、中国における農地流動化及び延辺地域における農地流動化の現状と「専業農場」の展開について紹介した。

第 2 章「延辺地域における農地流動化の実態と課題—Y 鎮の M 村と Q 村の農家調査を事例として—」では、朝鮮族農家が大多数を占める延辺州図們市 Y 鎮の M 村と Q 村を事例として貸出農家、借入農家及び自作農家の聞き取り調査に基づいて農地流動化の実態を明らかにすると同時に、三つの立場の農家意識・意向を比較し、この地域の農地流動化の課題を検討した。

第 3 章「延辺地域における「専業農場」の現状と課題—Y 鎮の「専業農場」経営者意識調査より—」では、延辺地域の図們市 Y 鎮において、2010～2011 年に設立された「専業農場」15 の内、現在運営されている 14 カ所の「専業農場」経営者に対して聞き取り調査を行い、

「專業農場」の実態及び「專業農場」経営者による農場設立の目的・経営意識を把握して、大規模経営を目指す「專業農場」の現状と課題を検討した。

第4章「延辺地域における「專業農場」の発展過程と展開方向—図們市Y鎮のYR農場・CX農場を事例として—」では、図們市Y鎮で先行して生産から加工・販売までの基盤を整えて「專業農場」を設立したYR農場と隣接する村で新たに2011年に「專業農場」を設立し、それと同時に基盤を整えたCX農場を事例として、経営者と加入農家への聞き取り調査によって、「專業農場」の発展過程と経営実態を分析し、経営内部の問題、両者の関係性、今後の展開方向を明らかにした。具体的には、経営者と加入農家の意識や経営構造から見た経営内部の問題、YR農場とCX農場の発展過程と経営者意識から見た両者の関係性、そして、延辺地域における專業農場の今後の展開方向を検討した。

第5章では、本研究の分析結果に基づいて、結論を総括する。

以上の各章の分析結果に基づき、本研究の結論を以下のようにまとめた。

第1に、中国の農地流動化において、農家の意識と意向は重要である。中国は「集団所有・農家請負経営」、戸籍等の独特な制度のもとで、農業部門と非農業部門との経済格差が大きく、近年ますます拡大している。一方で、「三農」に対する優遇政策は農民の農業に対する積極性を高めている。第2章のM村とQ村の事例から見ると、貸出農家、借入農家、自作農家の三つの立場によってそれぞれの意識と意向が異なり、借入農家の場合は経営面積とも関係がある。貸出農家と借入農家の双方の事情と意識が農地流動化を促進しているが、自作農家は自らの矛盾した意識で農地流動化に参加できない。長期的・安定的な農地流動化のためには、農家の今後に対する意向が重要である。

第2に、長期的・安定的な農地流動化を行うために組織的対応が必要である。第2章のM村とQ村の事例から見ると、貸出農家、借入農家、自作農家の三つの立場の分析から各農家の事情と意識が農地流動化に影響を与え、状況の変化によって他の立場に転化する可能性が高い。農家間の農地流動化は不安定な状況であり、長期的・安定的な農地流動化には組織的な対応が必要である。そして、「專業農場」は安定的・効率的な農地流動化に対し、重要な役割を果たしている。

第3に、持続可能な組織を目標として資金支援対象の選定システムが必要である。第3章のY鎮の「專業農場」14カ所の分析から、経営者は補助金政策を強く意識している。経営者は政府の「專業農場」に対する有利な政策を獲得するために農場規模の条件を満たすことを目的に農家の困り込みを進めているが、実態は個別経営の集合体の場合が多い。その結果、規模拡大による規模の経済はまだ実現できない「專業農場」が多い。従って、政府としても農場の持続可能な経営のために、先進的で将来性が高い「專業農場」に限定する補助政策が必要であると考えられる。

第4に、有能な農業経営者の育成のために資金面と指導面等の政府の支援システムが必要である。第4章のYR農場経営者C氏とCX農場経営者J氏の聞き取り調査の分析から、「專業農場」は村を土台として「加工工場」→「合作社」→「專業農場」の発展過程を辿り、生産から販売までの一体的な経営を実現する。しかも、この急激な発展は一人の経営者によって行われ、経営・管理されている。YR農場のC氏はまもなく60代に入り、農業経営を続けていくためには、今後リーダーシップを持っている後継者の育成も必要であろう。

「專業農場」の設立は農地流動化を促進し、延辺地域において農地流動化程度を左右する重要な影響要因である。また、「專業農場」に有利な政策により、機械化・大規模化がある程度

実現し、農業経営の効率化を促進させ、農業経営者（農業経営者と個別農業経営農家）の農業積極性を向上させた。

論文審査の結果の要旨

近年、中国では合作社、農場等の組織による農地流動化が進み、大規模経営が行われるようになった。

本論文では、図們市 Y 鎮を事例とし、延辺地域における農地流動化の実態を解明し、延辺地域の農地流動化を促進している手段である「專業農場」の現状を把握しつつ、設立経緯と発展過程及び展開方向を明らかにしたものである。

第 1 に、貸出農家、借入農家、自作農家の三つの立場によってそれぞれの意識と意向が異なる。貸出農家と借入農家の双方の事情と意識が農地流動化を促進しているが、自作農家は自らの矛盾した意識で農地流動化に参加できない現状を析出し、長期的・安定的な農地流動化のためには、農家の今後に対する意向が重要であることを明らかにした。

第 2 に、貸出農家、借入農家、自作農家の三つの立場の分析から各農家の事情と意識が農地流動化に影響を与え、状況の変化によって他の立場に転化する可能性が高く、農家間の農地流動化は不安定な状況であり、長期的・安定的な農地流動化には組織的な対応が必要であることを析出し、「專業農場」は安定的・効率的な農地流動化に対し、重要な役割を果たしていることを明らかにした。

第 3 に、「專業農場」経営者は政府の有利な政策を獲得するために農場規模の条件を満たすことを目的に農家の囲い込みを進めているが、実態は個別経営の集合体の場合が多く、規模拡大による規模の経済はまだ実現できない「專業農場」が多いことを明らかにした。このことから、政府としても農場の持続可能な経営のために、先進的で将来性が高い「專業農場」に限定する補助政策が必要であると提案した。

第 4 に、「專業農場」は村を土台として「加工工場」→「合作社」→「專業農場」の発展過程を辿り、生産から販売までの一体的な経営を実現し、この急激な発展は一人の経営者によって行われ経営・管理されているものの、事例の YR 農場の C 氏がまもなく 60 代に入ることから、農場経営を続けていくためには、今後リーダーシップを持っている後継者の育成も必要であろうことを示した。

以上のように、本論文では、農地流動化に対する性格の異なる農家の意識や意向、地域農業の維持・発展のために延辺地域で特異的に推進されている「專業農場」の実態を詳細に調査し、農地流動化が依然として不安定な状況にあること、「專業農場」が地域農業の維持・発展に有効であることを明らかにしたことは高く評価できる。よって、本審査委員会は本論文を博士（農学）の学位論文として十分に価値あるものと認めた。

学位論文の基礎となる学術論文

1. 金紅蘭, 藤科智海, 小沢互 (2013), 中国延辺地域における農地流動化の実態と課題—図們市 Y 鎮の M 村と Q 村を事例として—, 農業経営研究 51 (1) : 119-124

2. 金紅蘭, 藤科智海, 小沢互 (2013), 中国延辺地域における「專業農場」の現状と課題—図們市 Y 鎮の「專業農場」経営者意識調査より—, 農村経済研究 31 (2) : 65-71

3. 金紅蘭, 藤科智海, 小沢互 (2014), 延辺地域における「專業農場」の発展過程と展開方向—図們市 Y 鎮の YR 農場・CX 農場を事例として—, 農村經濟研究 32 (1) 掲載決定